

今回のテーマは・・・『戸』です。

最近は日本独特の「引き戸」が見直されているようです。

■『引き戸』が人気

日本家屋の玄関や間仕切りに使われてきた「引き戸」。生活様式の欧米化に伴いすたれる一方でしたが、最近は人気が出てきている様です。トステムでは室内引き戸の割合が年々増加し、5年間で約4ポイント高い40%まで上昇。大建工業も45%まで上昇。一番の要因は高齢化によるバリアフリーが大きいと言われています。車いすでも利用しやすいし、なんといっても開放していても場所をとらないという理由は大きいと思います。当社でも同様に室内の引き戸希望は以前と比べると大変多いです。住宅以外の公共建築物でも日本では自動ドアによる引き戸が多く利用されていて、自動ドアの95%が引き戸とのこと。回転ドアなどに比べて事故も少なく、人にぶつかる危険が少ないなど長所がいっぱいです。

■『玄関戸』

玄関ドアも日本では「引き戸」と「開き戸」「引き違い」の3種類が多く利用されています。ちなみに当社では「開き戸」を採用される方が多いです。もともと欧米では開き戸でしたが開き方が異なります。日本では外開きですが欧米では内開き。主な理由をあげてみると・・・。

- ・不審者が侵入した場合に内開きの方が全体重でドアを押して閉めやすい。
- ・日本では玄関で靴を脱ぐので室内にドアが開いてしまうと脱いだ靴が邪魔をして使いづらい。
- ・梅雨や台風の雨が多い気候なので家の中に雨が入るのを防止できる。

昔は玄関ドアに鍵をかけることが無くでも安全な日本でした。近所の人気が気軽に訪問しやすい社会だったと思います。アメリカ映画にでてくる様に玄関ドアを開ける前に訪問者を確認し、鍵を何個も解錠しないとドアを開けられない社会日本もなりつつあるのは本当に悲しいですね。子供達のためにも安全な社会にしていきたいものです。

余談ですが、先日引渡をしたお客様の住宅でリビングに隣接する和室の間仕切りに「和テイストのプリーツスクリーン」を設置したところ、「すごく良い感じ。」とご満足頂いた。私自身も何となく源氏物語絵巻に出てくる室内に仕切りに利用されている御簾を連想し、落ち着いた感じが非常に良かったと感じました。